

令和2年度指定管理業務に関する事業報告書（特養）

施設名 京都市桂川特別養護老人ホーム

1 施設の管理運営

【開所時間及び開所日】24時間365日 【利用定員】特別養護老人ホーム 50名、ショートステイ 4名 【入所者処遇（サービス提供）】 基本理念である「一人ひとりの利用者の人権を尊重し、利用者の人達の主体性と自立性を守っていく」を念頭に「安心」「安全」「信頼」の得られる事業者として満足が得られるサービスを提供する。
(参考) 今後実施予定の指定管理者提案内容

2 事業実施内容

【介護保険給付対象サービス】 利用者に対して入浴、排泄、食事の栄養ケアマネジメント、相談等の精神的ケア、社会生活上の便宜、日常生活上の世話、機能訓練、健康管理及び療養上の世話の提供。 【介護保険給付対象外のサービス】食事・居住の提供、金銭管理、レクリエーション行事等。 【サービス向上の主な取組】 ①利用者の高齢化及び身体状況等の重度化が進み、サービスの量的、質的充実を図る必要性が生じたために、職員の正職員化等を行って職員の定着化、質の向上に努める。 ②園内研修会の開催や園外研修会の参加等によって、職員の質の向上に努める。 【利用状況】平均要介護度 3.84 一日平均利用者数 47.5人（定員50名）
(参考) 今後実施予定の指定管理者提案内容
(参考) 自主事業内容

3 サービス提供状況

【特別養護老人ホーム職員配置】 ①管理者 1名 ⑤介護職員 16名 ⑨生活相談員 8名 ②医師 3名 ⑥管理栄養士 1名 ③生活相談員 1名 ⑦機能訓練指導員 1名 ④看護職員 4名 ⑧介護支援専門員 1名
(参考) 今後実施予定の指定管理者提案内容

4 市内中小企業への発注に対する考え方

・市内中小企業に優先して発注するよう努めた。 ・障害者就労施設への発注や障害者雇用を促進している。
--

5 施設の利用状況（施設の稼働率、利用者数、事業参加者数など）

(1) 特別養護老人ホーム 利用者のべ人数（実績値）

17275 人

(2) 収支実績

ア 令和2年度収入状況（単位：円）

介護保険収入	162,117,795
利用料収入	38,584,520
委託料収入	
補助金収入	4,848,000
寄付金収入	0
雑収入	326,510
その他	784,919
収入計	206,661,744

イ 令和2年度支出状況（単位：円）

人件費	150,904,355
事業費	41,238,312
委託費	17,472,352
小額修繕費	5,796,164
その他	19,619,303
支出計	235,030,486

6 施設の利用者満足度の把握

(1) 利用者満足度の把握状況

①実施時期 令和3年2月
②対象者 入所者家族
③調査方法 質問項目：18項目 無記名アンケート方式 5段階評価で実施

(2) 利用者満足度把握の結果

【回答者数】32名/50名（回答率64%）
【評価方法】5段階評価
【総合評価】今年度はコロナ禍により面会機会が減少、園内への出入り制限の為、回答しにくいという意見が散見された。評価はコロナ禍が災いした地域との関わり項目以外は、4.5評価が全項目の半数以上を占め、一定の満足度を得て頂いているものと評価できたが身だしなみ支援についてなど改善に取り組んでいく。

(3) 意見等への主な対応状況

満足度アンケート調査の集計結果を職員会議で周知、検討。
結果をフロアに掲示。

7 その他特記事項

(1)

--

(2)

--

8 評価（指定管理者自己評価）

新型コロナウイルス感染症に翻弄された一年であった。
令和2年度は「職員全体で桂川園を盛り上げる」というスローガンを掲げてスタートし、風通しの良い組織的な運営の実現を目標に管理体制の改革に着手した。下半期にはコンプライアンス及び、体制強化を目的に管理職の配置転換、中堅職員、相談的立場の職員の昇進登用を実施した。有効な新型コロナ感染防止策を講じて陽性者0を維持した。
入所選考委員会規定、委員会の仕組みを見直し、円滑な入所調整を実現し居室稼働率向上に努めた。相談職員、施設介護支援専門員などの専門職の配置を高めて、外部との連携体制の強化を行った。
職員研修は人権擁護、虐待防止研修、身体拘束防止研修等実施し、認知症及び心身の障がい等と理由に差別の解消に向けた研修の実施を行った。